

## 1 スクールミッション

自主的であること、合理的であること、積極的であること、協調的であることを教育目標とし、あらゆる教育活動を通じて失敗体験と成功体験を重ねることで、自己実現を図れる生徒、バランスの取れた人間性をそなえ、自ら考えて行動し、志を高くもって将来国際社会に貢献できる生徒を育成します。

## 2 教育目標

「自主・合理・積極・協調」を教育目標として定める。

- 主体的に全力で最後まで物事に取り組み、いかなる時代においても、生き抜くことのできる人間力を育成する。
- 知・徳・体のバランスのとれた人間性を身に付け、世界平和と国際社会の発展に貢献する人材を育成する。

## 3 スクールポリシー

### (1) グラデュエーション・ポリシー

本校で生徒が身に付ける能力や素養として、以下の6つを掲げる。

- ①主体的に学ぶ力(基礎・基本の定着、語学力の向上、自学自習の確立)
- ②課題解決能力(課題を発見・分析し、科学的・合理的に考え、その課題を処理・解決する)
- ③判断する力(情報の収集、精査を行い、物事を見極め、適切に判断する)
- ④発信力(他者の考えや異なる文化を理解し、自分の考えを表現、発信する)
- ⑤行動する力(自分の意志により行動し、決めたことを最後までやり抜く)
- ⑥協働する力(目標を共有し、互いに尊重し合い、力を合わせて活動する)

### (2) カリキュラム・ポリシー

- ①文武両道を教育活動の柱とし、学習、学校行事、部活動等、全てにおいて生徒が主体的に取り組む活動を推進する。
- ②教科指導、進路指導を充実させ、志の高い資質や能力を養い、第一目標を実現させる。
- ③英語力向上(英語検定等の積極的受験)、海外語学研修(オーストラリア・希望者)、外国語コースの英語合宿、アメリカやカナダ、ニュージーランドなど海外の高校生と国際交流を行う。(Global Education Network 20 指定校)
- ④部活動を通じて、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、困難を乗り越える力を身につける。Sport Science Promotion Clubに剣道部が指定されている。

### (3) アドミッション・ポリシー

スクールミッションに基づき、広い視野に立って考え行動できる学力の養成を基礎に、グローバル社会に貢献できる人間の育成を目指しています。高い目標の実現に向けてチャレンジする気概を有し、主体的に行動しようとする生徒の入学を期待しています。

- ①本校の教育目標「自主・合理・積極・協調」をよく理解し、達成できる生徒。
- ②本校普通科及び外国語コースへの志望の意志が強く、その動機・理由が明確である生徒。
- ③学習と部活動・学校行事を両立させ、主体的かつ積極的に学校生活を送る生徒。④外国語に対する興味・関心が高く、英語の基礎学力を身に付けている生徒。
- ⑤大学進学への意欲が高く、将来国際社会のリーダーとして貢献・活躍しようとする意欲のある生徒。

## 4 中期目標と方策

### (1) 学校経営

学年、分掌、教科、委員会、経営企画室等の各組織がそれぞれ責任を果たし、連絡調整を図り連携し、教職員の力を結集して円滑な学校運営を推進する。そのために、会議の在り方として、報告・連絡に終

わることがないよう、具体策を検討する内容とし、PDCAサイクルの徹底を図る。

(2) 学習指導

学習指導を充実させ、生徒一人ひとりの学力を確実に向上させ、進路指導に連動させる。そのために、各教科会を中心とした組織的な教科指導体制を構築する。また生徒が主体的に学習に取り組むよう、校内自習室を定着させるとともに、すき間学習の奨励、大学生チューター、学習支援サービスを活用するなど自学自習の習慣を身につけさせる。そして新教育課程の研究を継続して行い、主体的、対話的で深い学びを追求する。

(3) 進路指導

継続的なキャリア教育の視点から、進路実現を図る組織体制を強化し、3年間を見据えた指導を計画的に行う。大学進学では、**国公立・早慶上・GMARCHレベル以上の合格者数120名以上を目指す**とともに、生徒の第一希望の実現を目指すために、授業・講習・各種勉強会・自習室等の定着を図る。

(4) 生活指導

規範意識を高め、互いの人格や生命を尊重する態度を養うとともに、素直で謙虚な心を持ち、人間性豊かな人物を育成する。自らの行動、ふるまいについて継続的に指導する。また、自律的生活習慣を確立し、文武両道に集中できる生徒を育成する。

(5) 特別活動・部活動

三人行事(体育祭、文化祭、合唱大会)の生徒による自律的運営化や部活動のさらなる活性化を図り、生徒の満足度を高めて積極的に活動する態度を養い、社会に貢献する人を育成する。**Sport Science Promotion Club 指定(女子剣道部)、インターハイ・全国選抜大会出場、関東大会出場、及び東京都ベスト32以上の部活動4部以上を目指す。**

(6) 健康づくり

体育授業や体育的行事、部活動を通じて体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯を通じて心身ともに健康で豊かな人生を送るために、基礎的・基本的知識や技能を習得し、スポーツを継続的に実践する態度を育む。そのために東京都体力テストすべての項目で平均値を目指す。また体罰根絶、いじめ防止、自殺未然防止と安心・安全な学校を構築する。そのための取り組みとして、教職員、スクールカウンセラーが連携し、組織的な相談体制を充実させ、生徒の心身の健康を保持増進させる。

(7) 募集・広報活動

本校で学び活動する魅力を随時情報発信・公開、また地域に根差した各交流活動を推進し、信頼される学校として、組織的な募集・広報活動を展開する。ホームページの更新回数、アクセス数の増加、通信などの発行を通じて、情報発信に努める。また学校説明会、見学会、個別相談会において、常に工夫し、本校のPR活動を推進する。

## 5 今年度の取り組み目標と方策

### (1) 教育活動の目標と方策

#### ① 学校経営・組織体制

- ・企画調整会議を中心とし、各分掌・学年内及び各分掌・学年間の連携を強化し、組織の円滑な運営を図る。特に全教員・全組織が報告・連絡・相談・調整を徹底する。
- ・安心・安全な学校経営を徹底するため、教職員が危機意識を高め、服務事故・体罰ゼロを継続するとともに、災害・感染症に関する対策に学校全体で取り組み、年間3回以上の研修を実施する。
- ・**Sport Science Promotion Club、Global Education Network 20 指定校**という学校の特色を生かし、文武両道・国際理解教育を更に推進し、様々な取り組みの質の向上を図る。
- ・経営企画室の経営参画をより一層推進し、教員との連携・協力体制を構築し、経営基盤を強化なものにする。特に予算の適切な執行、学校徴収金の管理や個人情報の取り扱いを適切に行う。
- ・「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員のライフワーク・バランスを推進する。

#### ② 学習指導

- ・土曜授業・長期休業日における講習・補習等を積極的に行い、基礎・基本の定着を図る。
- ・学力スタンダード及び年間授業計画、学習指導案を策定し、組織的・体系的な学習指導及びICTを活用した教材開発を進める。
- ・放課後の講習・補習の実施と宿題の提出、そして自習室の開放を推進し、学習習慣を高め、自学自習を支援する。(大学生チューターの積極的な活用)
- ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、思考力・判断力・表現力・読解力の育成を重視した授業改善を積極的に行う。学期に1回以上授業評価アンケートを実施する。
- ・読書を積極的に奨励し、生徒の知的好奇心を高め、教養の涵養、読解力の向上を図る。
- ・習熟度別授業を通じて、個に応じた学習指導の徹底を図り、学習の質を向上させる。

### ③進路指導

- ・進路部を中心として、3年間を見通したキャリア教育を計画的に実施し、各学年と進路部の連携を深め、生徒の目標実現に向け、きめ細かな指導を行う。
- ・大学入試、公務員・就職試験合格に向けた講習を組織的・積極的に行うとともに外部模試を有効的に活用し、第一志望を諦めない生徒の姿勢を育成する。
- ・放課後講習、夏期講習(60講座以上)、長時間勉強会、自習室活用を組織的に運営し、学習習慣の定着を図るとともに、実力養成につなげる。
- ・教科・HR・委員会・行事を通じて、推進する主権者教育を通して、社会の形成者として求められる力を身につける。

### ④生活指導

- ・生活指導統一基準に基づき、挨拶励行、ルールを守ることなど、学校生活における基本的なマナーを適切に指導し、規範意識をもたせ、自律心を育成する。
- ・いじめある生活習慣を確立し、儀式や集会、日常の指導を通して、自己管理能力を定着させる。
- ・校門指導、交差点など危険箇所での立ち番指導、駐輪指導を実施し、生徒に交通ルール、マナーを遵守させ、自転車事故根絶を図る。
- ・いじめ対策委員会の定期開催、生徒のいじめアンケート調査、全教職員による日常の観察や面接等において、いじめの未然防止を徹底し、早期発見・早期対応及び情報共有の組織体制を構築する。また、自殺対策基本法等に基づき、命の尊さを学ばせるとともに、スクールカウンセラー・ユースソーシャルワーカー等を活用し、生徒1人1人の心の健康に対応できる相談体制を確立する。

### ⑤特別活動・部活動

- ・学習と両立し、学校行事、委員会活動等に積極的に取り組み、生徒会及び各委員がそれぞれリーダーシップを発揮し、活力ある学校づくりを推進・指導する。
- ・体育祭、文化祭、合唱大会の3大行事を自主自律の精神で、生徒の主体的な活動を指導・支援する。
- ・3年間部活動を継続させる指導を行う。年度の途中入部の促進、勧誘等により、部活動加入者の増加を図る。
- ・深川高校部活動方針に基づき、年度当初に1年間の部活動指導計画を作成し、目標達成に向けて意図的・計画的な指導を行う。
- ・中学生の部活動体験や合同練習を通じて異校種間交流、地域交流を深めるとともに、深川高校の部活動について積極的に発信する。
- ・**Sport Science Promotion Club** 指定校の発展を継続させるとともに、生徒同士が切磋琢磨し技術や体力の向上に努める環境をつくる。合同合宿や強化合宿、他県遠征を通じて、より高い目標を目指すよう指導する。
- ・教科「人間と社会」を活用し、社会人として生きる意識・力を身につけさせる一環として、地域における体験学習などを通して、異年齢や多様な人々と交流を深める。

### ⑥国際理解教育

- ・東京都次世代リーダー育成道場、自治体主催による長期・短期留学参加、海外フレンドシップ校との交流(ホームステイ)、海外語学研修(オーストラリア)、英語合宿(山梨県)、各種オンライン交流等を実施し、国際交流をいっそう積極的に推進し、将来の国際社会に貢献できる人材を育成する。
- ・実践的な英語力の伸長、英語4技能検定試験(STEP 英検、GTEC 他)を奨励し、英語活用能力の向上を図る。(外国語コースの生徒は高校3年間において英検2級以上取得)を目指す。
- ・JET、ALT の多様な活用、教員自身による最新英語指導法の研究、英語教育先進校の視察に積極的に取り組む。
- ・日本の伝統・文化の良さ(書道部、茶道部、百人一首大会等)を理解するとともに、様々な国や地域の人々に発信することのできる人材を育成する。
- ・修学旅行などを通じて、平和学習を継続し、人々のつながりを大切に、世界平和に貢献できる人材を育成する。

### ⑦心身の健康づくりと安全教育

- ・薬物乱用防止教室、セーフティ教室、防災教育など生徒の生命、安全を守るための指導を徹底するとともに、学校全体の危機管理体制を強化する。
- ・体力テストの実施、「体育」履修単位数7単位、学校行事、部活動を通じて、1年時より生涯スポーツの精神を理解させ、3年間を計画的・系統的に指導し、運動技術、体力の向上、精神面の強化を図る。
- ・学校保健委員会、安全衛生委員会を中心に、教職員、保護者、地域、関係機関との連携を強化し、生徒及び教職員の心身の健康づくりを推進する。

- ・感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等)、アレルギー反応への対応等に対する意識を高め、発生を未然に防ぐ予防指導、感染拡大を防ぐ組織体制を継続的に確立する。
- ・清掃強化日をもうけ、施設の清掃活動の徹底、ゴミの分別・減量に努め、校内の美化・環境整備を推進する。

#### ⑧募集・広報活動

- ・都立学校開放事業に基づき、校内施設の開放や公開講座を実施し、小中学生、地域との連携を深め、地域貢献を図る。
- ・ホームページの更新、アクセス回数を増やし、在校生、中学生及びその保護者、また地域の方々に適時、適切な発信を行う。
- ・中学校との連携を図り、授業公開、出前授業、学校見学・説明会、部活動体験入部等を充実させる。
- ・生徒による中学校母校訪問を行い、本校の教育活動の特色を発信し、入学者増加につなげる。

### (2)重点目標と方策

#### ①生徒の個に応じた目標実現を目指す。

- ・生徒の進路第一志望を諦めさせない学習指導、面接指導を徹底する。

進路決定率	100%
国公立大学、難関私立大学の合格者数	20名以上
GMARCHレベルの大学	100名
成成独国武明学	120名
日東駒専レベルの大学	210名
専門学校・公務員・就職内定率	100%
放課後・土曜日・長期休業期間中の講習講座数	60講座以上

#### ②部活動・学校行事の活性化を継続する。

部活動加入率	85%
学校評価アンケート学校行事項目の生徒満足度	90%以上
全国高校総体・総文祭出場	3部
関東大会出場	2部
東京都ベスト32以上	4部

#### ③規範意識の向上と安心・安全な学校生活を目指す。

- ・生徒・保護者・中学生・都民から信頼され、愛される学校を目指す。

いじめゼロ

自転車等交通事故ゼロ

セーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室の実施、教育相談委員会毎月開催、毎学期の担任による個人面談・三者面談の実施

#### ④国際理解教育の推進を目指す。(Global Education Network 20 指定校)

- ・海外交流を年間5回実施
- ・海外語学研修、英語合宿の充実
- ・JETによる英会話活動を毎月(10回以上)実施
- ・次世代リーダー育成道場、各種コンテストへの積極的参加、海外留学の推進
- ・オンライン、メール、ビデオレター、文通等の交流、留学生のホームステイ受入れ
- ・英語検定合格 **1級2名、準1級以上10名、2級200名、準2級120名**  
オリンピック・パラリンピック教育(学校2020レガシー)の一環として、講演会、体験活動を実施

#### ⑤広報活動・募集対策活動の更なる充実を目指す。

授業公開・学校見学会・学校説明会等の来場者数	3,500名以上
部活動体験・交流活動	100名以上
地域ボランティア・体験活動参加	3回

#### ⑥教職員のライフワーク・バランスの積極的な取り組みを目指す。

報告・連絡を効率よく行い、会議・委員会の時間(50分以内)を短縮する。

原則として、部活動の休養日を1週間に1日以上、必ず設ける。

**休日引率教員については、週休日の変更を必ず行う。**

(生徒の怪我や事故防止の観点から練習時間も工夫する。)

毎学期、定期考査期間を定時退庁ウィークとし、長時間労働の改善を図るとともに、7、8、12、1月を休暇取得促進月間とし、休暇取得の促進を図る。

若手教員を対象とした校内研修会について、年間を通して計画的に実践する。(年間10回)